

意外と身近に！？

自然発火

にご注意ください。

自然発火とは、直接火をつけずにそれ自体が空気中の何らかの条件によって発熱、長時間にわたって熱が蓄積されることで火がつく温度に達し、自然に発火する現象のことです。

一般的にはあまり知られていませんが、自然に発火して火災に至るこの現象は、皆さんの身近にも潜んでいます。



身近なものってどんなもの？

身近にあるもので言うと

塗料や**食用油**などがあります。

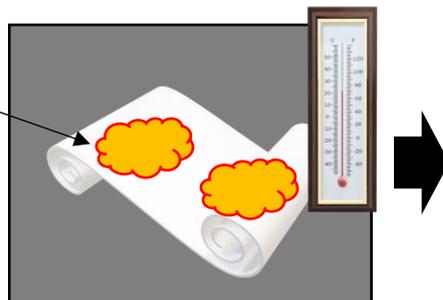


塗料や**食用油**などは、数時間放置すると酸化（酸素と結合）して発熱し、その熱が蓄積することで発火するおそれがあります。**塗料を拭いた後の布**や**塗料カスが付着したフィルター**、**調理後の油**や**天かす**は熱を蓄積しやすい状態であり、実際に発火した事例もありますので注意が必要です。

酸化



酸化熱による高温化



発火！！



それぞれの種類に応じて注意点は異なります。商品ラベルや取扱説明書などを見て**適切な保管・処分方法を理解し**、**整理整頓**を心がけ、火災予防を徹底しましょう。

みなさんの命、職場を火災から守るために！！

甘木・朝倉消防本部 予防課



問い合わせ先

TEL

0946-23-2752

